

研修報告書 No.17

研修先： 嶺北中央病院

このたび、地域医療研修として1ヶ月間、高知県本山町立嶺北中央病院で研修を行いましたので、報告いたします。

嶺北中央病院での研修が、高知県の地域医療に触れる初めての機会でした。普段臨床研修を行っている病院も地域に密着している病院であり、急性期から訪問医療まで幅広くカバーしている病院だと思っていましたが、嶺北中央病院は全くといっていいほど状況が異なっていました。

一番私の中で印象に残っているのは、患者さんの年齢層や住んでいる環境、診療所までのアクセスなど、嶺北中央病院が置かれている環境自体です。普段私が研修をしている病院も、人口が約5万人と決して都会とは言えない市町村にありますが、今回研修を行った病院や診療所のある嶺北地域には、日本でも有数の高齢化率である町や、日本の市区町村で2番目に人口が少ない村があり、超高齢化社会の最先端を進んでいるとお聞きしました。

診療所では研修のほかデイケアの送迎の付き添いなどを行いましたが、人口が少なく、高齢化が進んでいるだけではなく、診療所から嶺北中央病院に車で1時間近くかかる上に、家から診療所までも車で30分以上かかる患者さんも多くいらっしゃいました。そのような状況では病院や診療所に医師派遣を定期的に行うことだけではなく、送迎する方や日頃から場所やものを管理する方など、多くの医療職以外の方の人材確保なども重要であり、医療・福祉以外にもお互いに大きく関係している問題だと実感しました。

病院での研修は、内科など複数の診療科の外来見学や救急対応、入院患者さんの診察、診療所や施設への派遣の同行、リハビリやデイケアの参加など、多岐に渡りました。診療所では初めて紙カルテを使用して、慣れないなか記入方法からご指導いただきました。どこまでの検査や処方ができるかなど診療所ごとに可能な範囲が異なるなか、その場で出来ることを考え、適切に対応する、といった流れも含めて学ぶことができました。病棟業務の中では患者さんの疾患の治療だけでなく、患者さんごとの自宅・家族の環境まで考慮しつつ一緒にゴールを考えて進めていくことがいかに重要であるのか実感しました。その中では患者さんと医師だけではなく、看護師さんや理学療法士さん、作業療法士さん、言語聴覚士さんなどの方々の力がとても大きく大切になります。救急外来でも、普段の研修病院と比較すると件数は少ないですが、その分1件ごとに基本に立ち返りながら丁寧に診察をして状況などの確認を一緒に行い、適切な対応を行うことが出来ました。

今回1ヶ月という短い期間ではありましたが、嶺北中央病院での研修を通じて、地域の中で急性期から慢性期、その先まで連続した医療を学ぶことが出来ました。研修医としての立場はあと少しで終わりますが、その先の専門科を持って仕事を行う中でも、今回学んだこと

を生かしていけたらと思います。

最後になりますが、先生方やスタッフの方々、地域の方々はとても温かく受け入れてくださり、とても丁寧且つ優しくご指導していただき誠にありがとうございました。